

特集 病院と日本復興

3.11 東日本大震災では、被害を受けながらも機能が残った医療機関や全国から駆けつけた多くの医療人が、身体的・精神的な医療や介護に力を発揮し、改めて医療が国民の安心・安全に寄与することを示した。今こそ、病院が担ってきたセーフティーネットを検証しながら、医療や社会保障の新しい枠組みやシステムを作り上げる時ではないか。それこそ、これから否応なしに人口構造が変化していく日本の復興の肝となるのではないか。

本特集では震災を乗り越えて、病院・医療界はこれからどうしていくかを考える。

巻頭言

【座談会】震災復興と社会保障改革、これからの病院の役割を問う

神野 正博
【座談会】震災復興と社会保障改革、これからの病院の役割を問う

堺 常雄・西澤 寛俊・日野 頌三・山崎 學・井伊 雅子

一休改革における医療制度のあり方 田近 栄治

東日本大震災への対応と医療提供体制の再構築 唐澤 剛

2025年の病院のあり方を考える—全日病「病院のあり方に関する報告書 2011年版」より 徳田 禎久

今後のまちづくりと病院—震災復興と「高齢化の津波」の中で 大月 敏雄・小泉 秀樹・後藤 純

救護チームのあり方—DMAT 小井土 雄一

救護チームのあり方—JMAT 石井 正三

震災への対応と医療情報化 有倉 陽司

【グラフ】Hospital MIMMS (順天堂大学医学部附属練馬病院)

本郷だより

野球やサッカーなどのスポーツチームを除けば、世界で最も知られた日本のチームは「七人の侍」だったのではないかと思います。今やその地位は「戦隊ヒーロー」かもしれません。ゴレンジャーから始まった日本の戦隊ヒーローシリーズは、1993年にアメリカで「パワーレンジャー」としてリメイクされ、絶大な人気を獲得した後、既に世界80か国で放映されてきました。

アメリカ版制作にあたっては、初期の頃はドラマパートのみ現地でも撮影し、戦闘シーンは日本放映分の流用であったため不自然な点も多かったのですが、最近では日本からスーツを借り

受け、現地でも撮影しているのだとか。5人のメンバーにまんべんなく人種・性別を配しているのも、アメリカが多民族国家であることが窺えます。

先日朝日新聞に、東映がパワーレンジャーの企画を持ち込んだ際のことを書かれていました。初めアメリカ側はチームで戦うヒーローに違和感を唱えていましたが、東映側が「みんなで力を合わせ、欠点を補い合って戦うためだ」と説得したのだそうです。チーム医療ではアメリカに比べて遅れた感のある日本ですが、特撮ヒーローに関しては、一歩進んでいたようです。(落) (能藤・落合・松永)

告知板

第12回日本クリニカルパス学会学術集会

12月9日(金)~10日(土) 京王プラザホテル (東京都新宿区)

●プログラム：特別講演「医師・看護師・その他の医療チームを結びつける絆」日野原重明(聖路加国際病院)、シンポジウム「クリニカルパスと臨床指標(質評価指標)の利活用による質向上活動」、他

○連絡先：第12回日本クリニカルパス学会学術集会事務局

☎104-8560 東京都中央区明石町9-1 聖路加国際病院 総務課

TEL: 03-5550-7064 FAX: 03-5550-6000

pathway2011@jscp.gr.jp

http://www.jscp.gr.jp/meeting/index.html

医療事故紛争対応研究会第6回年次カンファレンス

12月10日(土) パシフィコ横浜(横浜市)

●プログラム：「アメリカにおけるソーリーワークス運動—日本への示唆」児玉聡(東京大学大学院)、「賠償責任の要件からみた噂話への疑問—『謝罪すると裁判で負ける』のか」前田正一(慶應義塾大学大学院)、「つらい知らせをすること—苦悩・意義・現場対応」久保千春(九州大学病院)、他

●定員：750人

○連絡先：医療事故・紛争対応研究会

Fax: 0120-286-575

infosmcm-group@umin.ac.jp

http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/conference/

病院管理 中間管理者研修

12月16日(金)~17日(土) ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

●プログラム：「2012年の医療・介護報酬同時改定の方向性と対策」中林梓(ASK 梓診療報酬研究所)、「人的資源活用の基本的理解」田中利樹(聖路加国際病院)、他

●定員：96人

●参加費：29,000円(会員21,000円)

○連絡先：(社)病院管理研究協会(担当：安保)

☎106-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル

TEL & FAX: 03-3352-2575

byokan@crest.ocn.ne.jp

http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/

病院 (第70巻第12号)

2011年12月1日発行(毎月1回発行)

定価 2,940円(本体2,800円+税5%)

〔2011年年間購読料(税込定価、送料弊社負担)〕
冊子のみ 34,200円 冊子+電子版 44,500円
電子版/個人 34,200円 電子版/共有 39,330円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室直通☎(03)3817-5719 FAX(03)3815-7802

販売部直通☎(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804

e-mail: byoin@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp

『病院』URL http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/byoin

印刷所 横山印刷(株)☎(03)3622-6161

広告申込所(株)ハイブリッジエージェンシー☎(03)3814-0089/デザイン：デザイン・ブレイス

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
© 2011, Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

〔JCOPY〕〈社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

(五十音順)

■編集顧問 岩崎 榮・大道 久・河北博文・紀伊國献三・竹内 實・広井良典

■編集委員 井伊雅子(一橋大学国際・公共政策大学院教授)・池上直己(慶應義塾大学教授)・伊関友伸(城西大学教授)
猪口雄二(寿康会病院理事長)・神野正博(恵寿総合病院理事長)・山田隆司(台東区立台東病院管理者・院長)

■編集協力 笥 淳夫(工学院大学教授)・中山茂樹(千葉大学教授)